

主 な 取 組	人権の啓発						担当課	自己評価
							学校教育課	A
目 標	基本的人権の尊重という普遍的な視点から、総合的・体系的な教育活動の推進、人権教育に係る学習機会の充実などに取り組み、人種・信条・性別・社会的身分・門地（家柄）・年齢・障害の有無等による差別のない、市民一人ひとりがお互いの人権を尊重する社会を目指す。							
取 組 状 況 及 び 成 果	人権の啓発、人権教育を推進し事業の継続を行い、内容の充実を図った。							
指標及び説明	【指標】 人権作文への取り組み率				【説明】 人権作文に取り組んでいる学校数により、人権啓発活動の充実度を判断します。			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	%	R 1 平時	R 4 平時	R 5 平時	R 6 平時	R 7 平時	R 8	R 8 平時
								100
		R 2 有事	100	100	100	100		R 8 有事
分 析	人権作文への取り組み率は市内小中学校全てで取り組めており、令和6年度は 9,536 作品、令和7年度は 8,434 作品の提出があり、今後も新たな人権問題への理解を深め、内容の充実を図る。							
課 題 及 び 改 善 点	事業を継続するとともに、これまでの人権問題に加え、生活様式の多様化や国際化、経済格差の広がりにより新たな人権問題が生じており、時代に合った人権教育・啓発活動に取り組む内容の充実を図る。							

※「平時」「有事」とは

本点検・評価報告書における平時とは、with コロナで、様々な制約を受けながらも、日常生活を取り戻しつつある状態を想定しています。有事とは、新型コロナウイルス感染症の拡大により緊急事態宣言が発出され、施設を休館する等、通常の事業ができない非常事態を想定しています。現状値の令和元年度は、年度末にコロナの影響を受けましたが平時とし、令和2年度を有事としています。平時における令和8年度の目標値は、令和8年度まで平時が続いた場合を想定し、有事における令和8年度の目標値は、令和8年度まで有事が続いた場合を想定しています。

また、有事においても、目標値に影響が無い場合は、「－」としています。令和3年度以降に、新規に開始した事業等で、令和2年度以前の現状値を示せない場合は、指標に「新規」と表記し、現状値を「－」としています。

主 な 取 組	人権教育の推進						担当課	自己評価
							社会教育課	C
目 標	自ら学び、人権感覚と共生の心を育む人権教育を推進するため、人権啓発講座、人権教育実践報告会等を実施します。							
取 組 状 況 及 び 成 果	人権問題に関する講演会や講座を通して、広く市民に人権感覚を養い、問題解決のための学習機会を提供している。5 公民館で人権啓発講座（テーマ「性的マイノリティ」「同和問題」「インターネットと人権」「障害者の人権」「災害と人権」）を、3 公民館で夏休み人権映画会を実施した。 人権教育推進事業として、小中学校PTAが実施している家庭教育学級のテーマに、人権問題を取り上げた。また、学校・PTA・公民館が今年度の人権教育の取り組み事例報告書を作成した。 夏休み人権映画会 3 回実施 延べ49 人 人権啓発講座 5 回実施 延べ84 人 内 28 人（6PTA） PTA家庭教育学級からの参加者 人権問題講演会 33 人参加 PTA家庭教育学級 延べ143 人（4PTA）							
指標及び説明	【指標】人権問題に関する講演会、講習会の参加者数				【説明】人権問題に関する講演会、講習会の参加者数			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		726	平時	平時	平時	平時		800
		R 2 有事	395	364	382	309		R 8 有事
		315						800
分 析	今年度初めての試みとして人権問題講演会を入間市PTA連合会との共催により「子どもの人権」をテーマとして実施した。また、PTA家庭教育学級や小中学校、公民館においても人権問題をテーマとした事業に取り組み、学習機会の拡充につながったと考える。一方で、近年に比べ大きく参加者が減る結果となった。							
課 題 及 び 改 善 点	より幅広い市民が参加しやすいテーマ設定・周知方法の検討や参加者の固定化を防ぐ工夫が必要である。そのため、日常生活に結び付くテーマの設定や、開催方法(会場開催・在宅型等)の工夫により参加者層の拡大を図るとともに、他団体組織との役割分担・広報連携を強化し、事業効果の向上につなげる。							

【施策の体系】 1 人権教育

【政策】 第1項 人権の尊重と権利の擁護

施 策		(1) 人権施策の推進		
施 策 評 価	主な取組	担当課	自己評価	総合評価
	人権の啓発	学校教育課	A	B
	人権教育の推進	社会教育課	C	
学 識 経 験 者 意 見 等	全般的に、施策や事業の達成度、進捗が順調であると感じました。人権は、すべての人が生まれながらにして持っている基本的で普遍的な権利です。入間市では、差別のない社会を築き、市民がお互いの人権を尊重することを目指し、人権教育に関する学習機会の充実に取り組まれていると自己評価から理解しました。特に、「政策1」に「人権教育」が位置付けられ、その「第1項」に「人権の尊重と権利の擁護」が示されていることは、入間市教育委員会が人権を重要視していることを示しています。			
	学校教育課においては、市内全小・中学校で人権作文に継続して取り組み、令和7年度も8,434作品が提出されるなど、人権意識の醸成に向けた取り組みが着実に実施されています。人権作文は、児童生徒が身近な人権課題について主体的に考える機会となっており、人権尊重の精神を育む教育活動として高く評価できます。			

一方、社会教育課においては、人権啓発講座や人権映画会、人権問題講演会、PTA家庭教育学級等を通じて、多様な人権課題について学ぶ機会を提供していることは評価できます。しかしながら、人権問題に関する講演会・講習会の参加者数は309人となり、目標値である800人を大きく下回っていることから、事業の周知方法や実施形態について更なる工夫が求められます。

近年は、インターネット上の人権侵害、性的マイノリティへの理解促進、多文化共生、障害者理解など、人権課題が多様化しています。今後は、学校教育と社会教育の連携を一層強化するとともに、若年層や子育て世代を含めた幅広い市民が参加しやすいテーマ設定やオンライン活用などの手法を検討し、人権教育・啓発活動のさらなる充実を図ることを期待します。

【施策の体系】 1 人権教育

【政策】 第1項 人権の尊重と権利の擁護

【施策】 (2) 平和施策の推進

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 1 1

主 な 取 組	平和意識の高揚						担当課	自己評価
							学校教育課	A
目 標	「入間市平和都市宣言」の趣旨に基づき、基本的人権の尊重という普遍的な視点から、平和の尊さについての啓発活動を推進し、平和意識の高揚を図ります。							
取 組 状 況 及 び 成 果	「平和を願う講演会」を計画通り開催し、平和意識の高揚を図ることができた。							
指標及び説明	【指標】 平和に関する講演会の実施				【説明】「平和を願う講演会」の学校の実施率により、平和意識の高揚度を判断します。			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	%	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		100	平時	平時	平時	平時		100
		R 2 有事	100	100	100	100		R 8 有事
		0						
分 析	令和6年度及び令和7年度で市内全中学校3年生を対象として行うことができおり、令和7年度も全ての中学生が1回は被爆体験をされた講師より講演を聞き卒業を迎え、平和の大切さ・尊さを学ぶことができた。							
課 題 及 び 改 善 点	事業を継続し、内容の充実を図るとともに、講師が御高齢のため新しい講師の発掘を行う。							

【施策の体系】 1 人権教育

【政策】 第1項 人権の尊重と権利の擁護

施 策	(2) 平和施策の推進			
施 策 評 価	主な取組		担当課	自己評価
	平和意識の高揚		学校教育課	A
学 識 経 験 者 意 見 等	自己評価が「A」であり、施策、事業の達成度、進捗が順調であると拝見しました。 「平和を願う講演会」は、市内全中学校3年生を対象として継続的に実施されており、令和7年度も全ての対象生徒が被爆体験者による講話を聞く機会を得ています。戦争体験者から直接話を聞く機会は年々貴重になっており、平和の尊さや命の大切さについて深く考える教育活動として高く評価できます。実施率100%を維持している点も成果として認められます。一方で、被爆体験を語ることでできる講師の高齢化が進んでおり、今後の事業継続に向けた体制整備が課題となっています。今後は、被爆体験者の証言映像の活用や平和学習資料のデジタルアーカイブ化、戦争や平和に関する専門家・継承活動団体との連携など、多様な学習資源の活用を検討する必要があります。 平和教育は人権教育の基盤となるものであり、平和意識を高めることは他者の尊厳や基本的人権を尊重する態度の育成につながります。今後も継続的な取り組みを通じて、次世代を担う子どもたちの平和意識の高揚を図ることを期待します。			